

第4次総合計画 基本構想の評価



構想1 人、活動、地域をつなげる

人口減少、超高齢化が進む中では、買い物難民対策、高齢者の見守り、子育て支援、バリアフリーなど、一人一人の顔が見え、「つながり」を実感できる社会の実現が必要です。その糸口として、地縁（地域のつながり）と志縁（趣味や目的によるつながり）を支援する施策を積極的に行います。

～主な事業～

- ・ 介護予防・健康づくり活動支援事業
- ・ 地域敬老会支援事業
- ・ 地域交流サロン支援事業
- ・ 防災コミュニティ促進事業
- ・ 子育てちょっと・ほっと・ひと息事業
- ・ 上手に使おう集会所事業
- ・ 便利バスが走る

主な事業



【介護予防・健康づくり活動支援事業】

健康づくり活動団体立ち上げ、運営支援
22団体活動中



【地域敬老会支援事業】

実施自治会の推進、運営支援
78自治会中の67自治会で開催



【防災コミュニティ促進事業】

実施自治会の推進、運営支援
自主防災組織の組織率100%

子育てちょっと・ほっと・ひと息事業 (前期実行計画事業)

- ・ボランティア組織を立ち上げ、子育てカフェ出店を支援。将来的な法人化を見据えて、カフェの事業展開を拡大（不用品の交換、講座など）

市民ボランティア組織化に至らず前期実行計画の計画期間で廃止。ファミリーサポートなど、一部事業は、町で実施中。

「市民大学みやしろ」設置事業 (前期実行計画事業)

- ・市民自らが企画運営する「市民大学みやしろ」を設置し、まちづくり活動に必要な知識や技術を学ぶ場を提供

市民ボランティア組織化に至らず前期実行計画の計画期間で廃止。

構想1 人、活動、地域をつなげる

人口減少、超高齢化が進む中では、買い物難民対策、高齢者の見守り、子育て支援、バリアフリーなど、一人一人の顔が見え、「つながり」を実感できる社会の実現が必要です。その糸口として、地縁（地域のつながり）と志縁（趣味や目的によるつながり）を支援する施策を積極的に行います。



- ・ 地域交流サロンや地域敬老会、自主防犯組織、自主防災組織などの活動組織
- ・ キーマンを中心とした地域のつながり
- ・ 地域の顔が見える関係づくり
- ・ 地域の居場所
- ・ 移動手段の確保（循環バス利用者増）

- ・ 活動の担い手
- ・ 自治活動のメニュー増による負担感
- ・ 集会所以外の地域の活動場所
- ・ 民間企業との連携
- ・ 活動主体の立ち上げ、その後の関わり
- ・ 個人情報提供（敬老会対象者）
- ・ 移動手段の確保（循環バス全域に至らず）





構想 2 交流人口を増やす

地域経済や市民活動の活性化、定住人口増の手がかかりとして重要な要素が町外からの交流人口です。東武動物公園、新しい村、日本工業大学をはじめ、宮代町ならではの魅力を生かして交流人口を増やし、町の活性化につなげます。

～主な事業～

- ・ 宮代町の魅力推進事業（五楽体験事業）
- ・ 市民の活動をつなぐインターネット放送局
- ・ 市民運営型の観光協会設立
- ・ 宮代型観光推進

主な事業



【宮代町の魅力推進事業（里山体験事業）】

NPO、市民活動団体とともにトラスト地を中心とした自然観察会、森遊びなど

【市民の活動をつなぐインターネット放送局開局事業】

市民特派員による町情報の動画発信



【市民運営型の観光協会設立事業】 （前期実行計画事業）

来町者の希望に応じて町の魅力や歴史を紹介したり、進修館や新しい村などの見どころとなる施設の案内を行う観光ボランティアを養成

【宮代型観光推進事業】

NPOや商工業者など様々な主体とともに宮代町の立地特性、資源を活かした宮代型の観光事業を展開（「つながり作りイベント和e輪e」）

構想 2 交流人口を増やす

地域経済や市民活動の活性化、定住人口増の手がかりとして重要な要素が町外からの交流人口です。東武動物公園、新しい村、日本工業大学をはじめ、宮代町ならではの魅力を生かして交流人口を増やし、町の活性化につなげます。



- 交流人口の増加
(イベント町外参加16,000人)
- 新たな活動主体の誕生、自立
- 町外への発信力のチャンネルが増えた
(Web、情報誌のポスティングなど)
- 町内に対して町の魅力、資源を再発見する機会

- 活動の担い手 (NPO、市民活動団体など)
- イベントのマンネリ化
- 活動のキーマンの重複
- 活動主体、イベントの連携





構想3 定住人口を増やす

積極的に町の魅力を内外に発信し、人口の新規流入と宮代町へのUターンを促し、定住人口の増加を図ります。

～主な事業～

- ・ みやしろ定住促進作戦
- ・ 宮代ファーマーズタウン推進
- ・ 道仏土地区画整理周辺整備
- ・ 東武動物公園駅東西口周辺整備
- ・ 和戸駅・姫宮駅周辺整備

主な事業



【道仏土地区画整理周辺整備】

事業面積 32.7ヘクタール
計画人口 2,600人



【みやしろ定住促進作戦】

定住促進サイト「みやしろで暮らそう」による情報発信



【東武動物公園駅東西口周辺整備】

事業面積 5ヘクタール

宮代ファーマーズタウン推進

- ・町内外から農に親しむ人口を増やすため、認定市民農園の開設を支援。
- 新たな農園を開設したNPO法人が高齢化などの理由で解散し、認定市民農園が新しい村のみとなった。

和戸駅・姫宮駅周辺整備

(前期実行計画事業)

- ・和戸駅西側地区で整備検討エリア(11.6ha)を設定、土地利用等を検討、個別意向調査等により住民意識を把握
- 県の方針により住居系での市街化区域の拡大が困難になったため事業を廃止。

構想3 定住人口を増やす

積極的に町の魅力を内外に発信し、人口の新規流入と宮代町へのUターンを促し、定住人口の増加を図ります。



- ・ 定住人口の増加33,059人 33,991人
H25～H30
- ・ 定住促進サイトによる情報発信
- ・ 移住者情報の収集と人材発掘
- ・ 東武動物公園駅西口の利便性向上
- ・ 東武動物公園駅東口の都市計画決定

- ・ 東武鉄道(株)による未利用地の活用の働きかけ
- ・ 東武動物公園駅周辺の未買収地
- ・ 空家の活用





構想 4 産業を結び、活かし、広げる

既存産業の発展に力を尽くすとともに、農と商工の連携、福祉や観光、環境などを組み合わせることで、新しい産業を生み出します。また、緑豊かな景観の保全にもつながる「農業」の支援を進めます。

～主な事業～

- ・ ファーマーズタウン推進事業
- ・ 地産地消食堂開店支援事業
- ・ 障がい者の雇用創出事業
- ・ 宮代町農業の6次化推進事業
- ・ 明日の農業担い手支援事業

主な事業

農
6次産業化

並木さんの
ゆず香もち

こだわりのお餅から
多彩な品揃え

「新しいお餅の味を追求し、消費者に届けるまで」をモットーに、ゆずの香りやもちの食感を追求し、消費者に届けるまでを大切にしています。並木さんのゆず香もち、ゆずの香りやもちの食感を追求し、消費者に届けるまでを大切にしています。

農
6次産業化

井上さんの
焼きまんじゅう

夫婦で15年。継続は美味なり！

「おいしいお餅の味を追求し、消費者に届けるまで」をモットーに、ゆずの香りやもちの食感を追求し、消費者に届けるまでを大切にしています。井上さんの焼きまんじゅう、ゆずの香りやもちの食感を追求し、消費者に届けるまでを大切にしています。



【宮代町農業の6次化推進事業】

農産物の生産・加工・販売の一体化を進め、農業生産関連所得を増やし、農業への若者参入や定住促進を進める

【明日の農業担い手支援事業】

高齢化や後継者不足による耕作放棄地の増加を防ぎ、町の農村環境の維持を図るため、新規就農者を確保、育成

ファーマーズタウン推進事業

- ・ 市民農園やガーデニングの観光資源化を進め、交流人口を増やし、地域経済の活性化。遊休農地の解消。

新たな市民農園が生まれ、NPO法人が運営に携わるも、法人の解散により閉園。ニーズ調査も十分でなかった。

地産地消食堂開店支援事業 (前期実行計画事業)

- ・ 料理コンテストから勉強会を発足し、起業への組織づくりへと展開。

もともとバラバラの参加者をグループ化していくことが難しかった。

構想 4 産業を結び、活かし、広げる

既存産業の発展に力を尽くすとともに、農と商工の連携、福祉や観光、環境などを組み合わせることで、新しい産業を生み出します。また、緑豊かな景観の保全にもつながる「農業」の支援を進めます。



- ・ 新規就農者の確保（15人）
- ・ 農と商工の連携（六次化新製品11品目）
- ・ 農業法人の参入促進（3企業）
- ・ 用排水路の改良や区画の整理など、農業生産基盤の整備が進み、営農環境が向上

- ・ 福祉や観光、環境などを組み合わせた新しい産業の創出までには至らなかった。
- ・ 起業、地産地消、空き店舗など、いくつもの目的が並列でならび事業の軸が定まりづらかった。
- ・ 事業展開の中から、町民主体の推進組織を生み出すこと





構想 5 公共施設の機能と役割の再編

近い将来訪れる公共施設の更新時期を前にして、人口や財政負担の面からどのような建替えを行うことが適切か、また次代のニーズや行政需要から公共施設の役割はどうあるべきかを検討し、適正規模の施設へ再編・集約（多機能化）を図ります。

主な事業

いきがい活動センターの機能転用事業者を募集します

町では、行財政改革の一環として公共施設の再編を進めており、町が運営する体育施設「いきがい活動センター」について、来年度から賃貸物件として活用しようと考えています。今年度、当該施設の有償貸与（現状渡し）を希望する方から事業提案を募集し、新たな機能として活用していただける事業者を選定する予定です。



アリーナの様子

バスケットコート1面がとれる広さのシンプルなアリーナ
周囲の壁は比較的強度ですのでフットサル等も可能



質問受付 7月2日～
募集開始 8月3日～

■コンセプト

地域の活性化が図られるような活用を行う事業者から事業提案を募集します

■活用用途

都市計画法をはじめ関係法令に適合した用途であり、地域の環境を損なうことがないと思われる用途とします。

■費用負担

活用に際し建物の改修等が発生する場合の費用及び貸与期間の維持管理経費はすべて借主の負担とします。

■転用時期・期間

平成25年度当初から複数年での賃貸契約を予定しています。（町と協議をして決定します）



【いきがい活動センターの機能転用】

昌平学園(杉戸町の学校法人)に、部活動の場として貸し出し、空き時間は昌平学園が一般住民に貸し出し

宮代町「西原自然の森」活用事業を募集します。

宮代町では自然環境の活用により平成27年度内に完成予定の「西原自然の森」活用事業の「西原自然の森」について、関係事業者の検討を促すため、関係事業者の募集を行います。このため、関係事業者からの応募を募集いたします。



施設概要
敷地面積 約1,200㎡
建物面積 約1,200㎡
完成予定 平成28年度

募集内容
1. 施設概要
2. 募集内容
3. 募集要項

募集要項
1. 募集要項
2. 募集内容
3. 募集要項

【西原自然の森活用事業】

西原自然の森の活用事業を公募。複数の事業者から提案があるも採用に至らず。現在、「福祉作業所」としての活用を検討中。

施設廃止＋機能移転＋機能転用



① 役場1階で開設していた市民活動サポートセンターを、進修館2階ロビーへ機能移転

② ふれ愛センターで実施していた子育て施策を充実させ、役場1階に「宮代町子育てひろば」を開所

③ ふれ愛センターは閉館し、経費を削減。転貸、解体を含め、今後検討。

③ 閉館

ふれ愛センター

【子育てひろば開所】

役場1階の市民活動サポートセンター機能を進修館へ移転。ふれ愛センターを廃止し、同センターの児童館の機能を新設の子育て広場に移転。

町立小中学校適正配置

- 「児童生徒数の減少」と近い将来訪れる「学校の建替え」という二つの課題に対応するため、町立小中学校の「規模」と「配置」の適正化に向け、「小中学校適正配置計画」を策定

平成28年12月議会において、小中学校の統廃合について慎重な取組みを求める請願が採択。現在の原稿の計画の検証作業中。

構想 5 公共施設の機能と役割の再編

近い将来訪れる公共施設の更新時期を前にして、人口や財政負担の面からどのような建替えを行うことが適切か、また次代のニーズや行政需要から公共施設の役割はどうあるべきかを検討し、適正規模の施設へ再編・集約（多機能化）を図ります。



- ・ 機能のある程度維持しながら公共施設の再編を進めることができた。
- ・ 子育てひろばの設置により、子育て支援センターの利用者が増加
- ・ サウンディング調査（ 1 ）の採用により、民間のノウハウを事業に活かす手法が増えた。

- ・ 町立小中学校適正配置
- ・ ふれ愛センターの活用

1 事業発案段階や事業化段階において、事業内容や事業流れ等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな提案の把握等を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法。



総花的な計画から選択と集中への転換



- 既存の分野を横串に貫く事業が多く生まれた。
事業効果の波及効果が広がった。例えば、環境担当が、自然体験事業を自然保護だけでなく、観光や定住といった視点で事業の企画したところにより発信力が向上した。観光情報誌iine（いいね）や定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」などで情報発信をするなど。
- 比較的に縦割り行政から横の連携が進んだ（第3次総合計画との比較）

- 担当課主導でなく、職員プロジェクトチーム主導で事業設計を行ったことから、各分野にまたがる事業の担当課の調整が難しくなった。

